



# 議会だより



## 令和4年3月定例会・臨時会

|                      |    |
|----------------------|----|
| あらまし・令和4年度予算         | 2  |
| 予算審査特別委員会            | 4  |
| 議案審議・議員提出議案・人事案件・臨時会 | 6  |
| 議会新構成・一般質問目次         | 8  |
| 一般質問 5人が登壇           | 9  |
| 委員会レポート              | 14 |
| わたしたちの町（猪苗代中学校）      | 16 |

カメラカメラカメラ！  
猪苗代中学校入学式



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play

# 猪苗代中学校 体育館建設へ!!

## あらまし

令和4年第2回定例会は3月1日から3月10日まで開催され、初日に正副議長の辞職により、新たな正副議長が選ばれました。町長から提出された議案は、令和3年度補正予算10件、令和4年度当初予算11件、条例一部改正が5件、指定管理者の指定1件であり、すべて原案のとおり、全会一致で可決しました。

また、人権擁護委員候補者の推薦に係る案件1件についても、異議のない旨答申することに決定しました。

議員提出議案1件が提出され、全会一致で可決されました。

一般質問は5人の議員が行いました。

### 【一般会計予算の概要】

総額は86億円

前年度比8億2100万円

の減額

歳入は、新型コロナウイルス感染症による景気低迷、米価の下落等により、自主財源の根幹である町税の確保が厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を担保する。

歳出は、統合中学校整備事業及び少子高齢化に伴う義務的経費の増加が見込まれる。内部管理経費の節減や事務事業の効率的な執行に努め、臨時的経費も事業の効果と緊急性を最重点に選別し、事業費の圧縮を図った。令和4年度末の町債現在額は、前年度比約1億6500万円減の約86億5800万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。

### 統合中学校屋内運動場

建設工事等5億300万円

旧校舎解体、体育館（解体・建築）、スクールバス購入のほか、統合中学校整備に係る経費。



令和5年度完成に向け着工される

### 賛成討論

（五十嵐 ミエ子）  
農産物の高品質化付加価値向上支援事業を持続可能にし、品質向上を図る予算を盛りこむことを求め、賛成。

## 続くコロナ対策!!

## 令和4年度の新型コロナウイルス対応の事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

※以下の事業に充当、執行されます。財源の一部は国からの補助金です。

### 消防防災

※（ ）は総事業費

○避難所におけるコロナ対策（162万5千円）

☞エアコン、ファンヒーター、パーテーション、サーキュレーター（空気を循環させるもの）等購入

○WEB会議環境整備（117万5千円） ☞タブレット端末、スクリーン等購入

### 農業の振興

○米のリノベーション推進（2,460万円） ☞5ページ《農林水産業費》

○そばの里推進（330万円） ☞プレミアム付き新そば券を発行

○農産物の高品質化付加価値向上支援（280万円）

☞出荷農産物に使用する「未来の夢堆肥」購入代等の支援

○緑の村振興対策（1,200万円）

☞緑の村魅力創造事業の実施と年間パスポート購入支援

### 商工観光業の振興

○町民応援商品券（7,400万円） ☞町民1人5,000円の商品券配布

○プレミアム付き商品券発行（1,220万円） ☞5ページ《商工費》

○町内周遊促進（2,425万5千円） ☞二次交通運行、プレミアム付旅行券発行等

### 窓口での申請

○申請書作成支援システム整備（256万1千円）

☞各種届出・申請時の記載事項の自動入力等システムの導入

### 小・中学校

○小学校タブレット端末整備（1,683万円） ☞5ページ《教育費》

○学校における感染症対策（145万円） ☞小中学校の消毒液等の購入

### こども園

○こども園ICT化（1,430万円） ☞園務支援システムの導入

○こども園感染症対策（138万4千円） ☞こども園の消毒液等の購入

### 和みいな

○図書館パワーアップ（160万1千円） ☞閲覧図書の新規購入

### 【歳入】

町税2.3%減！  
個人町民税は景気低迷、米価下落等により減額、法人町民税は果ごもり需要により一部業種が堅調であった。固定資産税は土地及び償却資産の課税標準額が下がったことなどにより大幅な減額。

### 国庫補助金は 新型コロナウイルス対策等により増！

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、ワクチン接種体制確保事業費補助金のほか、総合体育館LED化や住宅事業。

### 町債発行は 予算総額の10%以内！

統合中学校整備事業で3億4680万円、町道長寿命化事業で2億310万円などで、合計8億5600万円を発行。前年

### 【歳出】

町道の維持関連事業に  
1億3千万円

学校通学路維持補修工事（区画線設置）、町道側溝改修工事、舗装維持補修工事 ほか

こども園の運営費に  
1億5330万円

施設の維持管理、給食調理業務・バス運行管理業務委託、旧猪苗代幼稚園解体工事 ほか

度比で4億2350万円を減額計上。

### 町民応援商品券事業に 7400万円

町民1人5千円の商品券を配布、使用期間は7～9月。

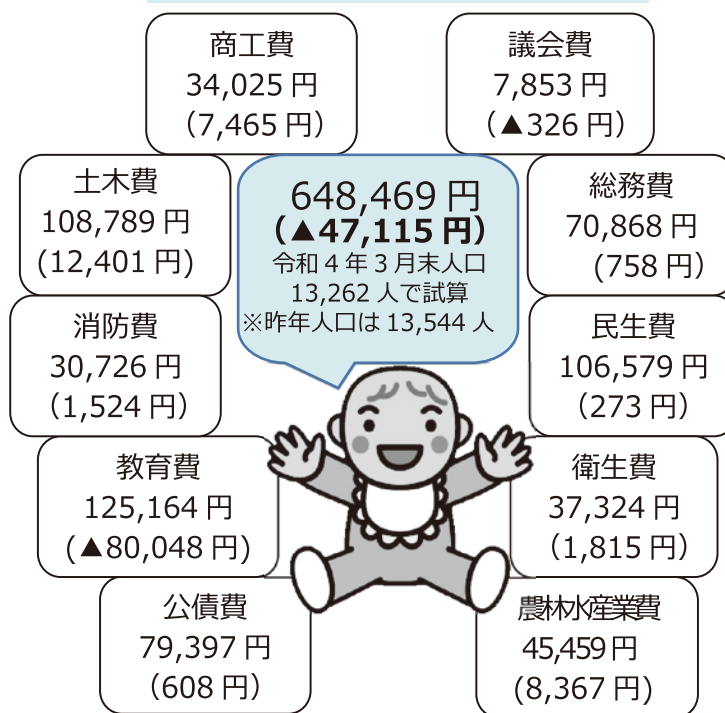
### 地域おこし協力隊活動事業に 3700万円

移住・定住、地域活性化、6次化・ブランド化、有害鳥獣対策、観光振興、集落営農・地域づくり支援の隊員9名の活動費（人件費を含む）。

### 町営住宅改修工事に 5000万円

桜ヶ丘住宅10号棟長寿命化・エレベーター改修工事。

## 町民一人当たりの 主な使い道（一般会計）



※（ ）は昨年度対比



議長を除く13名の委員で、令和3年度補正予算、令和4年度予算を審査しました。

## 令和3年度補正予算

### 一般会計

#### 〔歳入〕

#### 《町税》

問 コロナ禍で法人町民税の増額の要因は。

答 建設業、金融業等が好調、またコロナの巣ごもり需要でホームセンターやドラッグストアが堅調であった。

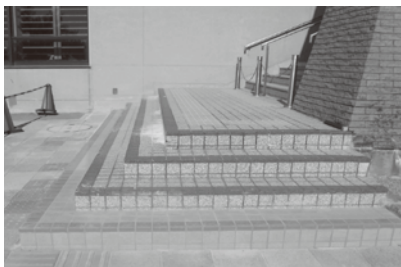
問 入湯税の増額の要因は。

答 8月から10月まで実施の町民割において5千人程度の利用者があり、県民割を含めた施策によるものと分析する。

#### 《国庫支出金》

問 亀ヶ城公園災害復旧工事費確定の場所と状況は。

答 令和3年の地震により生じたカメリーナ周辺の段差、体育館内の鉄扉のゆがみ、屋外公衆トイレの一部破損、学びいな平板ブロック沈下の改修を行った。



カメリーナ周辺復旧工事後

#### 〔歳出〕

#### 《衛生費》

問 妊婦検診・新生児聴覚検査委託料の減額の要因は。

答 過去の実績や妊娠届により80名の出生に対する予算を計上したが現在のところ50名程度の見込みである。



問 定期予防接種、風疹予防接種（追加的対策）の減額の要因は。

答 出生数の減や新型コロナウイルス感染症拡大による接種時期の延期、風疹については1100人見込みのところ160名と受検率が低迷している。

#### 《商工費》

問 風評被害対策費1478万円の減額の要因は。

答 コロナの影響によりインバウンド誘客の見通しが立たなかった。教育旅行支援金は、9月補正予算で増額したが、まん延防止措置により、結果、減少となった。

#### 《土木費》

問 空家除去推進事業補助金の応募がなく、全額減額であるが、その分析は。

答 補助金限度額が50万円、補助率2分の1で、取り壊しに百万円以上かかれば50万円の補助となるが、取り壊し後10年間は地区で活用するため無償で土地を提供する規定があるからと考える。

## 令和4年度予算

### 一般会計

#### 〔歳入〕

#### 《町税》

問 入湯税の増額の要因は。

答 アフターコロナを見据え、コロナの影響を受けていない令和元年度の決算を含めた3か年の平均を取り計上した。

問 個人町民税の減額の要因は。

答 本町の町民税に係る所得割合は給与所得が78・7％である。新型コロナウイルス感染症による景気低迷、観光客の減少により賃金や賞与のカット、自宅待機や失業により所得は減少傾向にある。

#### 《法人事業税交付金》

問 増額の要因は。

答 県に納入された法人事業税の7・7％の3分の1を各市町村の法人税割額で、他の3分の2を各市町村の従業者数割で案分した金額が交付される。

#### 《国庫支出金》

問 へき地児童生徒援助費等補助金974万円の内容は。

答 ①中学校スクールバス購入分375万円。②児童生徒の遠距離通学費で、中学校統合に伴い新たに旧吾妻中・旧東中の生徒の路線バス、JR通学定期代補助金で、5年間交付される。③スクールバス運行委託補助で、事業者所有のバスを借り上げ運行する分の補助金。

#### 《県支出金》

問 福島県移住支援補助金225万円の内容は。

答 単身世帯1件、複数世帯3件を見込み計上した。

問 ホストタウン等交流支援事業補助金の内容は。

答 東京オリパラ大会の事後交流事業を支援するもので、ガーナにおいて活躍していた方の講演やガーナ大使館、コミュニティ関係者を呼んでの食やスポーツ・音楽の交流を計画している。

#### 〔歳出〕

#### 《総務費》

問 高齢者運転免許証自主返納者へのバス・タクシー回数券については、ホームページには商品券もあるが。

答 65歳以上の高齢者の方が交通安全の為に自主的に返納した場合に、上限が3万円、バス・タクシー回数券・全国共通商品券のなかから、ご本人が選択できる。



返納により交付される

問 ふるさと納税PR予算は。主に広告料であるが、町のホームページでも周知をし、また今年度は、PRイベントへの参加に係る出張旅費等も計上している。

問 《農林水産業費》米のリノベーション推進事業補助金の趣旨は。

答 令和3年度も米価対策として実施したが、令和4年度も飼料用米、加工用米に、備蓄米も加え、米価の安定対策に向けた事業である。

問 種苗購入助成事業補助金は。

答 アスパラの苗の購入補助である。

#### 《商工費》

問 商工振興費の増額の要因は。

答 地場産業の担い手確保プロジェクト事業委託、プレミアム商品券と、町民一人5千円を配布する町民応援商品券発行事業が増額の要因である。

問 いなわしる雪花火事業の新設の背景は。

答 夏の火花大会に加えて冬の雪花火を新規で実施する。コロナの影響により、事業者・町民の皆さんの不安な生活が長期化していることから、元気づいていたが、また、おもてなしの意味をこめて取り組む。

問 プレミアム商品券の事業概要は。

答 総事業費は1220万円。1万円分の商品券に千円のプレミアムを付け1万セットを販売。使用期間を11月から翌年1月までと予定している。

#### 《土木費》

問 総合体育館照明を、水銀灯からLEDにする理由は。

答 水銀灯が製造中止で購入が出来ず、照明が切れている箇所がある。比較的使用が少ない冬期間を中心に工事を実施する予定。

問 千代田歩道橋の補修工事の内容は。

答 歩道橋の塗装及び構成物、鉄の部分の部材の修繕を計画している。



千代田歩道橋

問 都市計画道路猪苗代翁島線の事業認可業務委託の事業内容は。

答 完成している打越地区から町道堅田五百苅線にかけて、千里小前を含めた千代田地区の300メートル幅員14メートルとして整備するための業務委託。



早期拡幅が望まれる千里小前

問 小学校管理費の増額の要因は。

答 1年生から3年生までを対象としたタブレット300台の購入、千里小灯油地下タンク内のコーティング工事が主な要因である。

問 旧猪苗代幼稚園解体・外構撤去工事についてはいつ頃実施予定か。

答 年度初め、早急に着手したい。

問 旧吾妻中学校、旧東中学校の校舎管理等の計上は。

答 吾妻中は、火災保険料、民地を返還するために敷地の境界の測量業務委託、枝の刈払い、敷地の草刈り関係で年間約59万円。

東中は、建物の警備等に係る電気料・電話料、火災保険料、警備業務費、自家用電気工作物の保安管理業務、地下タンクの休止業務委託で年間377万円、両校合で437万円である。

#### 《債務負担行為》

問 統合中学校に避難所としての設備も含まれるのか。

答 新体育館は避難所としても利用するので、備蓄倉庫も整備したい。



旧猪苗代幼稚園



【審議した議案】

消防団員の報酬増額！

猪苗代町消防団の設置等に関する条例の一部改正

◎団員の報酬の改正

3万2千円→3万6500円

【主な質疑】

問 改正に至った経緯は。団員のみの増額は。

答 消防庁の「消防団の処遇等に関する検討会」が発足された。その中間報告として様々な提言がされたことを受け、改正に至った。非常勤消防団員の報酬及び報酬に係る基準について「団員」は3万6500円と上程された。団員以外の階級の金額については基準額と同額以上になっている。

犬・ねこ処理手数料改正

猪苗代町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

飼い主の都合により町が申請を受けペット等の死体を処理する場合の手数料の改正。

◎1体につき千円

↓犬1体1万2千円

ねこ1体8千円

【主な質疑】

問 なぜ、犬とねこに分けたのか。

答 町が委託するペット霊園で犬と猫で料金が違うため。手数料は特定のものに対する役務の対価であるため実費を負担していただくことが正当であることから改正に至った。

いなわしろ聖苑使用料

猪苗代町聖苑条例の一部改正

「外科手術・事故等による四肢」火葬について、使用者からの収骨の希望により、使用する炉に応じた料金を定める。

◎汚物炉使用の場合3千円

火葬炉使用の場合7千円

※町民が使用する場合の料金



人権擁護委員候補者の推薦について  
意見を求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、推薦することに異議がない旨、答申しました。

任期は令和4年7月1日から令和7年6月30日まで。



ながお さちこ  
長尾 幸子氏  
(上新町)

※人権擁護委員は、町が、議会の意見を聞いたうえで法務局に推薦し、法務局は弁護士会等の意見を求め検討し、法務大臣が委嘱します。

議員提出議案 提出議案

ロシアによるウクライナ侵攻に断固反対する決議

提出者：星野あけみ、賛成者：五十嵐ミエ子

【決議文】

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権と領土を武力で侵害する行為で、国連憲章と国際法に違反し、国際秩序の根幹を揺るがすものである。

また、ウクライナ国内においては、子どもを含めた多くの人命が奪われており、このような侵略行為は断じて認められない。

さらにプーチン大統領の核の使用を示唆するような発言に対しても、核被爆国として厳しく非難するものである。

猪苗代町議会は、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻に断固抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置を図り、ロシア軍の即時完全撤退を求めることを強く要請する。

以上、決議する。

令和4年3月10日

猪苗代町議会

子育て世帯・非課税世帯等支援予算が可決！

臨時会

(1月28日)

あらまし

令和4年第1回臨時会は1月28日開催され、令和3年度補正予算1件について、原案のとおり全会一致で可決しました。

【審議した議案】

○令和3年度

一般会計補正予算

《民生費》

『灯油購入助成事業』

原油価格高騰による生活困窮世帯（住民税非課税世帯）への影響を緩和するための予算1549万4千円を計上。

◎対象者…1500世帯

◎助成金額…1万円／1世帯

※県の原油高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業補助金を活用、200万円を歳入に計上。

【主な質疑】

問 原油高騰での助成の1万円の根拠は。

答 各市町村、足並みが定まっているわけではないが、会津管内、近隣市町村の状況を考慮して1万円と決定した。

『子育て世帯への臨時特別給付金給付事業』

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するための予算8993万3千円を計上。

◎対象児童数…1770人（見込）

◎助成金額…5万円／1人

※全額、国庫補助金を活用

【主な質疑】

問 国から示された三つの給付方式（①現金一括10万円 ②5万円＋5万円 ③5万円＋クーポン）があったが大多数の世帯が②の方式となった。町としてそれを採用した経緯は。

答 多数の世帯が現金給付を希望しているという報道により、経費、時間を要するクーポンではなく、全額、現金給付とした。



新学期の準備等で出費が多くなる時期

問 10万円一括給付をしたところもあるようだが、当町は5万円＋5万円とし、なぜ1か月程度ずれたのか。

答 残りの5万円については国の補正予算を待った上での給付となった。国としては新学期の準備等、子育て世帯が現金を必要とする3月下旬までにお届けするというスケジュール案が示されている。

『住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業』

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯を支援するための予算1億6972万円を計上。

◎対象者…住民税非課税世帯及び新型コロナウイルスの影響により家計が急変した世帯

◎対象者数…1664世帯（見込）

◎助成金額…10万円／1世帯

※全額、国庫補助金を活用

《総務費》

・役場庁舎の燃料費

12万5千円を増額

《土木費》

・道路除雪費の燃料費

117万円を増額

・体験交流館の燃料費（暖房・除雪費）

44万6千円を増額

《教育費》

・小学校管理費の燃料費

24万1千円を増額

・中学校管理費の燃料費

123万9千円を増額



## 議会構成がかわりました

3月定例会において正副議長の選挙が行われた結果、議長に渡辺真一郎氏、副議長に長澤操氏が就任しました。  
委員会構成も一部変更になりました。



副議長  
長澤 操



議長  
渡辺 真一郎

### 総務常任委員会



委員長 渡部 一登

副委員長 鈴木 元  
委員 佐藤 英一郎  
委員 五十嵐ミエ子  
委員 渡辺 真一郎

### 経済建設常任委員会



委員長 星野あけみ

副委員長 金本 久美子  
委員 後藤 公男  
委員 長澤 操

### 文教厚生常任委員会



委員長 佐藤 悦夫

副委員長 瀧田 勝昭  
委員 大高 佐代美  
委員 佐瀬 真  
委員 関沢 和人

### 議会運営委員会



委員長 佐藤英一郎

副委員長 後藤 公男  
委員 渡部 一登  
委員 星野 あけみ  
委員 佐藤 悦夫

# 一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

## 佐藤 英一郎

森林環境譲与税の活用状況

## 星野 あけみ

読書推進

## 五十嵐 ミエ子

小学校の統廃合

## 佐瀬 真

新型コロナウイルス感染症の対策

## 瀧田 勝昭

地域特性を活かした文化の振興

## 一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。  
本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

町のホームページでは、一般質問の録画映像を配信しています。  
※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

### 議会広報編集特別委員会



委員長 長澤 操

副委員長 大高 佐代美  
委員 鈴木 元  
委員 渡部 一登  
委員 星野 あけみ  
委員 瀧田 勝昭

## Q. 森林環境譲与税の活用状況は A. 意向調査及び境界調査の実施をする

【質問】今年度の交付見込は、また基金の残高はいくらか。

【農林課長】交付額は令和2年度同程度の1440万円の見込みであり、基金残高は2659万円程度と見込まれる。

【質問】基金を含めた今後の交付金活用は。

【農林課長】この制度では新たな調査地区を選び、意向調査、境界調査、管理権集積計画策定、そして関連管理という一連の流れを実施し、新たな制度の対象となる森林の調査事業を行いながら、全体事業量の把握をするともに計画的な事業推進を図ってまいりたい。

【質問】福島第一原子力発電所事故による立木（広葉樹）補償の申請状況は。

【総務課長】民間賠償が先行して進められており、縁故集落の立木の使用収益権分が該当することとなる。各集落とも賠償請求手続きについては、おおむね完了しているかと捉えている。公共賠償については先月、東京電力から通知があったばかりで、財産区については、直営地分が該当するかについて、今後、協議をしてまいりたい。

## Q. ふるさと納税への取り組み状況は A. 寄付金の使途、具体的な事業に努める

【質問】ふるさと納税への取り組みの中で、明確な特色ある寄付金の使途を提示すべきと思うが。

【企画財務課長】本町では第7次猪苗代町振興計画で定めている五つの基本目標から選んで頂いている。具体的事業だと寄付に対する納税者の興味、関心が高まると思われるので、今後、検討してまいりたい。

【質問】成人年齢の引き下げによる町の取組は。

【生涯学習課長】成人年齢引き下げで、20歳から18歳に変更された。成人式については、民法上の成人年齢に必ずしも合わせる必要はないと解され、本町においてもこれまで同様、20歳を対象に成人式を開催してまいりたい。



農畜産物など魅力ある  
ふるさと納税返礼品







ほしの  
星野 あけみ

## Q. 図書館パワーアップ事業とは

### A. コロナ禍での有意義な在宅と外出抑制のための事業

#### 【質問】パワーアップ事業の展開は。

【生涯学習課長】新着図書を増やし貸し出した。令和2年4月の休館前後は、開館時間を短縮しながら貸出冊数と貸出期間を2倍の8冊4週間貸し出した経緯がある。

#### 【質問】まん延防止期間の対応は。

【生涯学習課長】町内における急激な感染状況により新型コロナウイルス対策本部会議で1月24日から公共施設臨時休館が決定した。

日中だけ、図書の貸し出しだけの検討もしたが、一カ月以上の休館となり新たな貸し出しはしなかった。この期間に毎年3月に実施している蔵書点検を行い、3月に休館しない形をとった。

#### 【質問】パワーアップ事業の柔軟な対応は。

【生涯学習課長】毎月新着図書を幅広く購入し、事業の目的を達成するためにも感染対策をしながら図書の貸し出しを行っていく。

#### 【質問】ビブリオバトルの今後は。

【生涯学習課長】中学生が様々な分野の本に触れる機会を通じて読書の楽しさを知り、自ら進んで読書に親しむきっかけづくりを目的に平成30年から始まった。今後は大会参加者を高校生や一般へ拡大も検討している。

#### 【質問】町のビブリオバトルにとどまらず次の大会につなげる考えは。

【生涯学習課長】地区大会や県大会などにつなげる時期に開催できるように学校や関係者と検討を進めたい。

#### 【質問】小・中学校の読書推進は。

【生涯学習課長】猪苗代わくわくブック運動を実施し読書奨励賞を授与している。令和3年度からは完読賞を新設し推進している。

## Q. PDFファイルがスマホで開けないのは

### A. ファイルの添付状況やスマホの機種による

【質問】町のホームページに掲載の※PDFファイルがスマホで見ることができない。今後の対応は。

【総務課長】ホームページの各課の内容は、各課において作成、掲載している。ファイルの不具合が解消できるように指示していく。

※PDF：特定の環境に左右されず、文章や画像等を閲覧できるファイル形式。



防災情報や感染対策なども掲載されている



和みいなの「わくわくブックコーナー」



いがらし  
五十嵐 ミエ子

## Q. 小学校統廃合の見直しが必要では

### A. 推進委員会の提言に回答することが原則である

#### 【質問】町教育施設適正配置等推進委員会が設置されているが、小学校の適正規模は。

【教育総務課長】学校教育法施行規則では小学校の学級数は12学級以上18学級以下を標準とし、各学年2から3学級としている。

#### 【質問】コロナ禍の中で少人数学級の良さや重要性が浮彫りになっているが、少人数で教育上どんな課題があるのか。

【教育総務課長】①翁島小と長瀬小は耐震基準を満たしていない建物である。②児童数が減少し、緑小では複式学級になっている。他校でも複式学級となるおそれが出てきている。③適正規模の小学校が本町にはないということが課題である。



緑小学校

#### 【質問】統合のメリットとデメリットは。

【教育総務課長】メリットとして①末耐震校舎の解消。②複式学級の解消。③法施行規則にある適正規模に近づける。④学校維持管理費の削減が図られる。デメリットとしては①通学時間と費用の増加。②統合小学校の一つとして予定している千里小の学校敷地、校舎とも手狭となるおそれがある。

## Q. マイナンバーカードについては

### A. 国の制度の普及のため、丁寧に説明している

#### 【質問】本町でのカード発行状況は。

【町民生活課長】令和4年2月末日現在、本町では6616枚、交付率は48・4％で、県内で7番目の交付率となっている。

#### 【質問】本町の健康保険証としての登録人数は。

【町民生活課長】窓口では、2月末現在まで1690人の登録補助を行った。

マイナポータルから登録も可能であり、市町村単位での登録人数を把握するすべがなく、国が総数を公表している。

#### 【質問】情報を一つの番号に集約することで不安を持つ方に、どのように説明していくのか。

【町民生活課長】趣旨やメリット、セキュリティ対策のためのパスワードについて丁寧に話し、不安をとり除いていただけるようにしている。

#### 【質問】国では各種手続きや申請等でナンバー記載を強制しないとしているが、本町の対応は。

【町長】この制度は、一つのカードでいろいろなことに役立つ。安全な生活をするにはこのような方法がいいのではないかと考えている。





さ せ まこと  
佐瀬 真

Q. ポストコロナ社会への当町の取組は  
A. 誘客等を目的とした各種事業を実施することが重要

【質問】町長がテレビ局の質問に対し「過疎化の当町はお店も少ないのでまん延防止の措置は必要ない」との発言の趣旨は。

【総務課長】近隣市と比較してお店が少ないとの意味合いである。

【質問】まん延防止等の措置がないと休業協力金ももらえないと思う。それではお店はやっていけないのでは。

【商工観光課長】感染拡大で影響を受けた事業者に向け各種支援金を実施する。状況が長引くなら対策を講じる。

【質問】休校再開に際し全児童に対し抗原検査等を実施する予定はないか。

【教育総務課長】全児童対象に実施するには多額の費用負担が発生するので現状難しい。



春はかならずやってくる

【質問】感染拡大から2年、このような事態のために学校のオンライン授業を推し進めてきたのではないか。

【教育総務課長】中学校3校では行ったが、小学校は通信環境等の整備の遅れからオンライン授業に至っていない。

【質問】町独自判断で子供達へのワクチン接種を、既往症を持つ方への優先接種に変えることはできないか。

【保健福祉課長】今の段階ではできない。

【質問】近隣町村に越された方々の意見に本町の子育て支援不足や各種税金が高いとの意見も聞かれるが。

【保健福祉課長】子育て支援は出産手当を支給。留守家庭への支援として放課後児童クラブ開設等している。

【税務課長】固定資産税は土地が高いのに起因している。他町村と比較判断は難しいが、不動産鑑定により評価している。

【町民生活課長】国保税は県が指定する標準税額で算出している。医療費が増えれば納付金が増額する要因になる。

【質問】商工観光業を盛り上げ、原発事故前の雇用を回復させる考えは。

【商工観光課長】振興策に積極的に取り組む。

Q. I・Uターンの者の役場での採用は

A. 検討する時期が間近に迫っていると感じている

【質問】町外へ転出される高齢者が多い。高齢者が安心して暮らせる町への取組は。

【保健福祉課長】緊急通報システムの整備や、民生児童委員の訪問等を実施している。

【質問】地域おこし協力隊の方々が本町を選んだ理由は魅力ある町づくりと思うが。

【企画財務課長】協力隊を終了され本町に居住されている方と共に魅力を発見、発信していきたい。



I ターンの「I」は猪苗代の「I」

りで文化財を保存活用する体制の構築を図り、文化財の存続と発展が期待される。ただ、現時点では町レベルでの策定は難しい。

Q. 住民サービス向上の職員の人材育成は  
A. 町民の目線に対応して前向きに検討したい

【質問】町は具体的に身近な問題をどのように把握しているのか。

【総務課長】行政課題の把握の方法は、町民からの意見や実態を把握するためのアンケート、外郭団体等における把握、事業実施前に住民サービスの低下となり得る事象の把握などがある。役場庁舎や学びな等のご意見箱や、町政出前講座などでも把握する。

【質問】住民の問題を把握していて、国の制度変更による住民サービスの低下があった場合、町独自の住民サービスをどう考えるか。

【総務課長】あくまでも住民の立場での町の行政サービスの提供をして、住民にベストな方法があれば庁舎内の共通認識として対応していかねばならないと考える。



たきた かつあき  
瀧田 勝昭

Q. 町民の力をかりて、文化財保存活用計画の策定は  
A. 保護しながら保存するためには前向きに検討していく

【質問】図書歴史情報館もあるなかで、新たな歴史民俗資料館の位置づけ役割は。

【生涯学習課長】歴史情報館は町の縄文時代から保科正之公の関連資料、軽便鉄道など、近代までの歴史を概略的、横断的に紹介している。民族資料館は、民具をとおして、昔の生活や産業などを見て、懐かしく、また今の生活の利便性を感じていただけのような町民の方々が興味を持つ展示を予定している。

【質問】亀ヶ城址の国指定史跡への問題点は。

【生涯学習課長】文化庁の調査官より、令和2年1月に、指定後の体制が重要である、埋蔵文化財の専門職員が不在では国の指定史跡とすることは非常に難しいとの意向を示された。



4月開館の歴史民俗資料館



# 委員会レポート

## 文教厚生常任委員会

**【概要】** 中学校については、再生可能エネルギーや地球環境に配慮した空調、県産木材を使用した温もりある校舎とした。また、全天候型の陸上競技用直線トラック整備を計画。統合後も3校の教職員の引き続きの配置を県教育庁へ働きかけ、また、生徒会交流事業や部活動合同練習など、スムーズな開校への取り組みがされている。

**【意見】** 中学校は校舎北側の校庭側の除排雪対策をしっかりと願いたい。また、送迎時間帯には、猪苗代中央線が混雑しており、統合後の対策を行うべきである。

小学校統廃合について、児童数の推移は無視できないが、少人数だからこそ、児童一人ひとりの顔が見える教育ができ、人数あわせではなく、子供たちを第一に考えてほしい。恵まれた地域環境の中で、地域全体で育むことも大切であり、将来の人間形成にも大きく影響する。利用する校舎について、他校の校舎の状況がわからない場合もあるので、保護者の意見も聞き慎重に検討すべきである。地域に学校が無くなることは、地域として将来への希望も無くなってしまうことも懸念される。



4月に開校した猪苗代中学校

## 議会広報編集特別委員会 全国町村議会広報研修会



令和4年1月31日、議員控室において全国町村議会議長会の動画聴講により、研修を行いました。報道としての議会広報、住民参加の手段としての議会広報、政務活動の議会広報へ応用すること等についての講演がありました。

町民の声を聞いて町の方向性を決めなければならぬが、コロナ禍でその声を認識しているのか、町民の方は議会だよりをどう感じているのか、分かっていたら、参加していただけないと、編集していただけないと、今後の議員活動・議会広報の方向性について、意見交換を行いました。

## 小中学校の統廃合の進め方

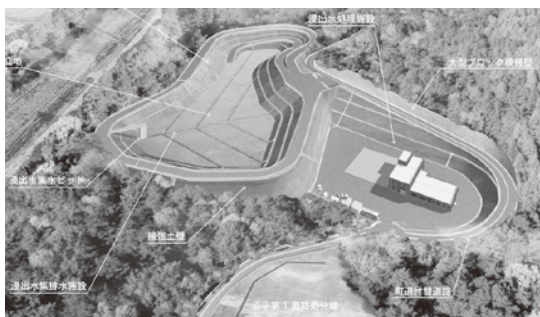
## 会津若松地方広域市町村整備組合 令和4年2月議会定例会

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会が2月10日から2月21日に行われました。条例の一部改正や令和3年度補正予算、令和4年度当初予算など、6議案が上程され、全て原案のとおり可決されました。

令和3年度一般会計補正予算は6012万2千円減額し66億494万8千円となりました。

令和4年度一般会計当初予算の総額は84億954万6千円となりました。

契約案件としては、沼平第3最終処分場建設工事請負契約の変更で、3億8156万2300円増額され、56億2197万1300円となりました。



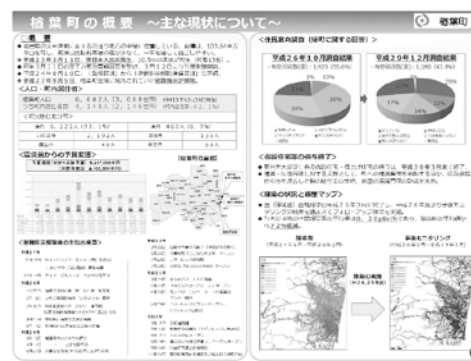
磐梯町に建設中の沼平第3最終処分場（予想図）  
ごみの処分にも税が使われます

## 総務常任委員会

**【概要】** 榎葉町は、東京電力福島第一発電所から約20キロに位置し、人口は、震災当時7700人だったが、震災の影響により平成27年には435人まで落ち込み、現在は6682人まで戻りつつある。復興の取り組みとして、JR竜田駅を中心に役場や新しい商業施設、交流館、医療施設、こども園等を整備し、併せて災害公営住宅や分譲地も一体的に整備し生活の拠点としている。復興を目指すために、教育、農業、健康増進とスポーツ振興の3本柱を掲げ様々な取り組みを行っている。

**【意見】** 榎葉町は避難指示解除まで4年半続いたが、さまざまな復興施策の結果、住民も徐々に戻りつつある。最重視した取り組みも行政と住民が一体となった素晴らしいものが多い。定住人口や交流人口を増やす取り組みが本町においても注目するべき点である。

福島ロボットテストフィールドは、実際の環境を再現してロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設である。本町の道の駅は防災道の駅に認定されており、これらの施設を参考に整備を進めていただきたい。



榎葉町の現状に関する資料

## 経済建設常任委員会

**【概要】** 農業経営について、主産作物は米（水稲）であり、全国的な主食米の消費量減少や、食文化の多様化、更には、コロナウイルス感染症の拡大による急激な消費量の落ち込みなどを原因とした、過剰在庫による大幅な米価下落となっている。

また、経費等の面からは、世界的な素材インフレにともなう農薬・肥料・農業用資材等の価格高騰、更に、環境に配慮した資材や先進技術を活用した装置により、農業機械等の価格高騰などが要因となり、必要経費が上昇している。

今後の対策として、町の主力産業として、農業の経営を安定・発展させるため、県やJA等の関係機関と協力し、営農指導、経営指導、経営や加工等の専門家への相談環境の整備等を進めていく必要がある。



高品質化・高付加価値化による  
所得確保につなげたい

## 震災からの復興（資料による調査）

## 農業経営の現状と対策

等も入れ、町民も理解ができるような形の宣伝等が必要。米余り、米価下落の中で、米以外となると「大豆」や「そば」「花き」等があるが、中には手間が掛り割に合わないと言った声もあり、改善の余地があると思う。

国や県は、大きい単位で見ても、ある程度の水準を確保出来ればいいという制度を作る。国の政策に乗って今後もやっていかざるを得ないのか、地産地消として、地元で消費、応援できるようなシステム作りが大事である。

作物の特産化や6次化を図り、所得向上に努めるべきである。





すずき もか  
鈴木 萌香さん（猪苗代中学校）



## わたしたちの町

～自慢のふるさと～



風の音、虫の声、鳥のさえずり…様々な音が響き渡る我がふるさと「猪苗代」。そんな猪苗代町が私は好きです。今回、私が思う猪苗代町の素敵な所を紹介します。

一つ目は、春になると、観音寺川沿いに桜が咲き、見る人を楽しませてくれる所です。私は、今年の三月まで東中学校に通っていました。校舎の窓から見える桜並木はとてもきれいで、東中学校の自慢でした。

二つ目は、地域の方々が親切で優しい所です。私が自宅付近を散歩していると、地区の方が、「どこに行くんだい。気をつけてな。」などと声をかけてくださいます。ほんの一言、一言にとてもうれしい気持ちになり、気づいたら自然と笑顔になります。他にも、よい所いっぱいある猪苗代町。何十年、何百年先も自然豊かで、笑顔あふれる町であることを願います。輝け、猪苗代町。



### 傍聴においで下さい

**6月議会は  
6月7日(火曜日)  
開会予定です。**

【一般質問予定日：13日(月)・14日(火)】

※質問者・質問内容については6月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

#### 掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ



選任された議会広報特別委員

#### 今号の表紙

猪苗代中の皆さん！新しい環境で学び、体験し、猪苗代町に新しい風を吹かせてください！！



### 編集後記

入学や就職といった事柄も一段落し、花のたよりが聞かれる季節になりました▼新型コロナウイルス感染症は3年目となり、仕事や町民生活に、いまだ大きな影響を与えており、早い収束が望まれます▼今年は例年になく雪に恵まれ、スキー場はそれなりの賑わいとなったようです▼世界に目を向けると、ロシアがウクライナに侵攻し、惨状は目に余るものがあります。ウクライナに一日も早く平和が訪れることを願わずにはおられません▼今回から編集委員が一部入れ替わり、新たな気持ちで議会広報（議会だより）の発行をしてまいります。町民に愛読していただけるよう努めてまいります。ご意見等をお待ちしております。

長澤 操

#### 議会広報編集特別委員会

委員長 長澤 操  
副委員長 大高佐代美  
委員 鈴木 元  
委員 渡部 一登  
委員 星野あけみ  
委員 瀧田 勝昭  
議長 渡辺真一郎